

第 15 回堺市新型コロナウイルス対策本部会議議事要旨

日 時：令和 2 年 7 月 11 日（土） 午後 5 時 30 分～

場 所：堺市役所本館 3 階 大会議室

議 題：1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について
2. 堺シグナル ステージ 3 移行に伴う本市の対応について
3. その他

【開会にあたり市長より】

- ・ 本日（7 月 11 日）、直近 1 週間の感染経路不明の感染者が 7 名を超えたことにより、堺シグナルがステージ 3 に移行した。7 月 5 日にステージ 2 へ移行してから 1 週間も経たずにステージ 3 へ移行したことを踏まえると、感染が拡大していると言わざるを得ないと認識している。
- ・ 堺市内で急増しているというよりも、感染拡大地域との往来により、増加している可能性があり、また、第 1 波とは異なり 20 代や 30 代の若い世代に感染が拡大していると認識している。
- ・ 市民の皆様には感染防止の行動を徹底していただくよう強く呼びかけたい。特に、体調が良くないときの外出や、感染防止の取組が十分でない場所への訪問は控えていただくことをお願いしたうえで、検査数や医療体制を拡充・確保しながら状況を注視したい。

【議題説明及び質疑】

1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について（健康部長）

（※資料 1 参照）

（質疑）

「新型コロナ受診相談センター」において、5 月 14 日以前と以降で相談内容に違いはあるか。（市長）

⇒自身の病状についてや、入院・検査を希望する問い合わせが多い。5 月 14 日以降は相談件数が落ち着いたが、検査についての問い合わせが多かったと認識している。

（健康部長）

（市長指示）

現在、医療体制や医療物資の状況は、第 1 波と比較すると改善していると認識しているが、日々の経過を注視しながら医療機関と密に連携をはかり、現場において何らかの問題が発生していないか、状況を精査するように。

また、感染拡大の兆候が見受けられれば、早急に対応できるよう準備を進めるように。

2. 堺シグナル ステージ3 移行に伴う本市の対応について(危機管理監)

(※資料2 参照)

(市長公室長)

- ・堺シグナル・ステージ3 移行に合わせて、感染が拡大していることを周知するポスターを作成した。各公共施設にはすでにデータを送付しており、明日(7月12日)から掲示を行う。また、堺スタイルについては、民間の事業者の皆様にもご利用いただけるよう、ご協力をお願いしたい。

(市長意見・指示)

- ・堺シグナル・ステージ2 においては市民の皆様にご感染防止対策を徹底していただくお願いにとどまっていたが、ステージ3 においては、市民の皆さまの行動にも一歩踏み込んで感染防止をお願いしたい。具体的には、体調が良くないときの外出や、感染防止の取組が十分でない場所への訪問は控えていただくこと等である。
- ・広報車や防災行政無線による放送の拡充、啓発看板の設置やポスターの掲示等で、さらに、感染状況が【要注意】から【要警戒】に移行したと市民の皆様にご感じていただきたい。
- ・市民の皆様のご社会経済活動を停止することは考えていない。社会経済活動と感染防止の両立を両立していただくためには、市民の皆様とより接することができる区役所職員に更なる周知を図って欲しい。
- ・市民の皆様にご周知するためには、広報が重要であり、広報は発信することだけが目的ではない。どうすれば市民の皆様により伝えられるか、状況を精査し、さらに効果的な方法を実施してほしい。

3. その他

・イベント開催に伴う事前相談へのご協力について (危機管理監)

(※資料3-1 参照)

【閉会にあたり市長より】

- ・緊急事態宣言が解除されてからの国の方針として感染拡大防止と社会経済活動の両立が掲げられてきた。大阪府も、社会経済活動を止めないという方向性であり、本市も同じ内容で取組を進めていく。
- ・現在の本市の感染状況は、感染拡大防止と経済活動を両立できるかどうか重要な局面である。今回、要警戒となったことを受け、職員は、全庁一丸となって、危機意識を持ち、これ以上、感染を広げないために、何ができるか真剣に考えるように。
- ・ワクチン・治療方法が確立されるまで、市民の皆様にも、危機意識・警戒・感染予防の行動を徹底していただき、社会経済を継続できるように、この思いを市民の皆様と共有し、全庁一丸となって取組んでいきたいと考えている。